



令和5年
11月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 井上雅規

6年生修学旅行～奈良・京都～

10月11日（水）～12日（木）、6年生は、奈良・京都へ修学旅行に行きました。天候にも恵まれ、2日間の行程を充実させることができました。交通渋滞の関係で、最初の見学地である法隆寺入りが30分遅れとなりましたが、6年生の「時間を守り、行動する。」ことが功を奏し、その後は、スムーズに旅行を進めることができました。この貴重な経験・体験・行動を自信に繋げ、今後ますますの中番小学校最高学年としての活動・行動に大いに期待のもてる1泊2日となりました。



「令和5年度 全国学力・学習状況調査について」

令和5年4月18日（火）6年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。

6年生保護者の皆様には、8月末に本調査の個票（個人結果）をお渡ししております。今回、中番小学校として令和5年度の分析結果について、ここに報告をさせていただきます。本日配布いたします、小野市教育委員会発行の「令和5年度 全国学力・学習状況調査 調査結果・分析」とあわせてご覧いただき、ご活用ください。

① 学力調査は、国語・算数ともに「概ね良好な結果」が出ています。

- 国語・算数ともに「おの検定」の活用により、漢字・計算等の基礎基本の定着が見られます。
- 国語では、文章の趣旨を捉えさせる内容を授業に取り入れたり、対話の際に質問の意図を捉えられているかを確認したりすることにより、良好な結果に結びついたと考えられます。
- 算数では、問題文と図や式の相互関係を正確に捉える学習を行うことにより、理解が深まっています。
- △ 国語では、重要語句や必要な情報を選択するという処理能力について課題がみられました。文章全体から考えるのではなく、ポイントとなる語句に着目できるように、毎日の授業の中でも意識させていきます。
- △ 算数では、意味・概念について理解することに課題がみられました。朝学の時間等も含め、継続して反復練習の機会を設け、掲示物を充実させ「図形、割合」等の確を視覚的に学べるよう工夫していきます。

()内は、「あてはまる+どちらかと言えばあてはまる」と回答した児童の数値

② 学力結果と相関関係がある以下の生活・学習習慣については良好ですが、「読書」に課題が見られます。読書が好きと答える児童の割合は多いため、読書習慣につながる取組が必要です。

- 朝食を毎日食べていますか (100%)
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか (93.8%)
- 学校に行くのは楽しいと思いますか (93.8%)
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか (100%)
- 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。(100%)
- △ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)
⇒ 30分以上(25.0%) 30分未満(75.0%)
読書は好きですか(75.0%)

小野市教育行政顧問 東北大学 川島隆太教授の脳科学の知見によると、家庭での時間の使い方については

- ① 子どもの脳の「前頭前野」を発達させるために、「スマホ」「ゲーム」の時間を「読書」時間へ。
- ② 1時間以上のスマホ等の使用は、成績の伸びが不十分で、学力向上に大きな悪影響を及ぼすとされています。
また、近著では、スマホ等を使い過ぎると、「脳が退化する。」と警鐘を鳴らされています!

③ 自尊感情、規範意識や道徳的な判断力は健全です。

- 自分には、よいところがあると思いますか (87.6%)
- 将来の夢や目標を持っていますか (100%)
- 人が困っているときは、進んで助けていますか (100%)
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (100%)

☆中番小学校の最上級生としての自覚と自己有用感は学習意欲の向上にもつながります。また、読書習慣を定着させ、読解力を身につけることは、他教科の理解にもつながります。

今回の全国学力・学習状況調査の結果から見えてきた課題について、中番小学校として真摯に受け止め、その解決に向けた取組を全教職員で実践・遂行し、今後の子どもたちへの学習や生活への指導・支援につなげ、生かしていけるよう尽力してまいります。今後とも、本校の教育活動にご理解、ご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

“それでもやります 中番小学校 「中番一番」”